

2021年7月6日 NIIオープンフォーラム 2021 RCOSトラック2
学認LMS

研究データ管理講座 紹介



国立情報学研究所
オープンサイエンス基盤研究センター
南山泰之
minamiyama@nii.ac.jp
ORCID ID:0000-0002-7280-3342

目次

1. 概要

2. 機能紹介

3. 今後の展望

1. 概要

研究データ管理講座



研究者のための研究データ
マネジメント

[ReadMore >>](#)



研究データ管理サービスの
設計と実践

[ReadMore >>](#)



オープンサイエンス時代の
研究データ管理

[ReadMore >>](#)



【参考】研究データ管理サ
ービスの設計と実践 (e-
book 2019試験運用)

[ReadMore >>](#)

- 研究データ管理を始める機関向けのトレーニングコース
- 3コースを提供（2021年7月現在）
- オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）との共同開発

研究データ管理への要請

政府・研究資金配分機関・学術機関・出版社の政策／方針（ポリシー）

- 公的研究資金を受けた研究成果（論文とデータ）の公開
- 論文のエビデンスとなったデータの10年保存と開示義務
- 産学連携・市民科学の推進と国際競争力の強化



研究データ管理



研究者／コミュニティ

- データを公開することによる研究成果の信憑性の向上
- 過去の知見の再利用
- 研究成果の保全
- 研究活動の効率化
- 分野融合型研究の加速

JPCOARとNIIによる研究データ管理教材開発

NIIによるアクション

Project 1

2017年11月～2018年1月

「オープンサイエンス時代の研究データ管理」開講
RDMトレーニングツールを編集、MOOCで提供

Project 2

2018年8月～10月

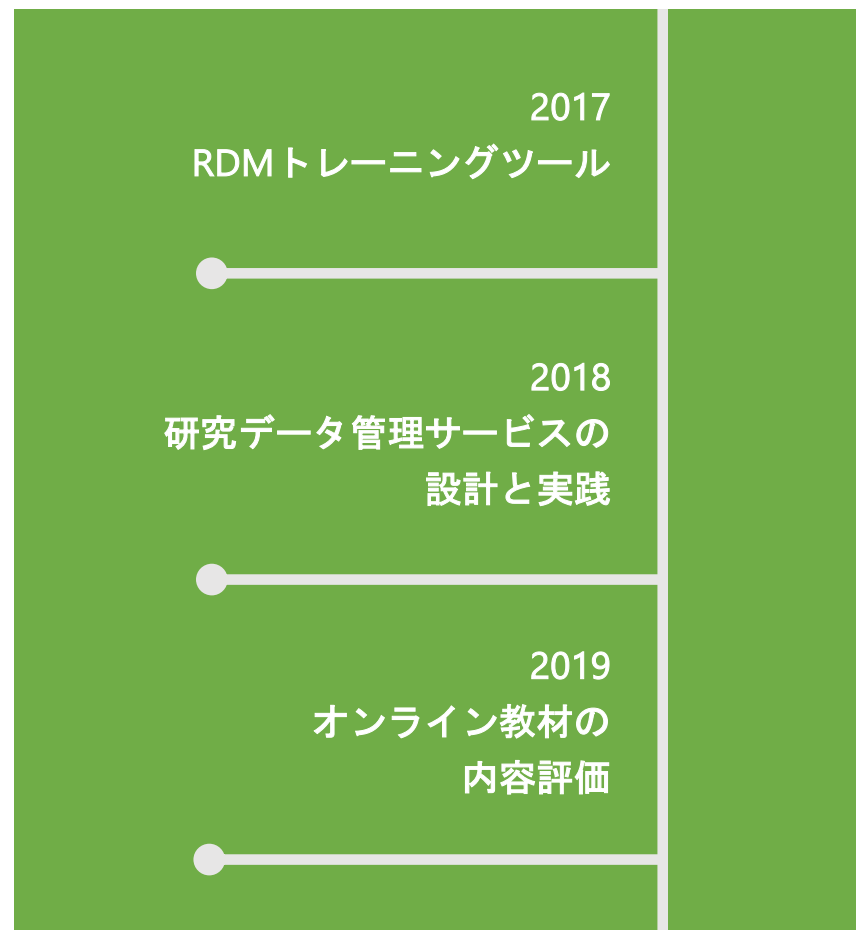
「研究データ管理サービスの設計と実践」
オンライン講座試用プロジェクトの実施
Moodleプラットフォームの試行

Project 3

2019年7月～12月

JPCOARと合同で、学認LMSを用いたオンライン
講座試験運用プロジェクトを実施
動画及びE-Bookの評価

JPCOARによる教材開発



(続) JPCOARとNIIによる研究データ管理教材開発

NIIによるアクション

Project 4

2020年11月～

「研究データ管理サービスの設計と実践」及び
「研究者のための研究データマネジメント」の
マイクロコンテンツ化
学認LMSへのコンテンツ搭載

2021年6月 学認LMSでの教材公開

Special Thanks

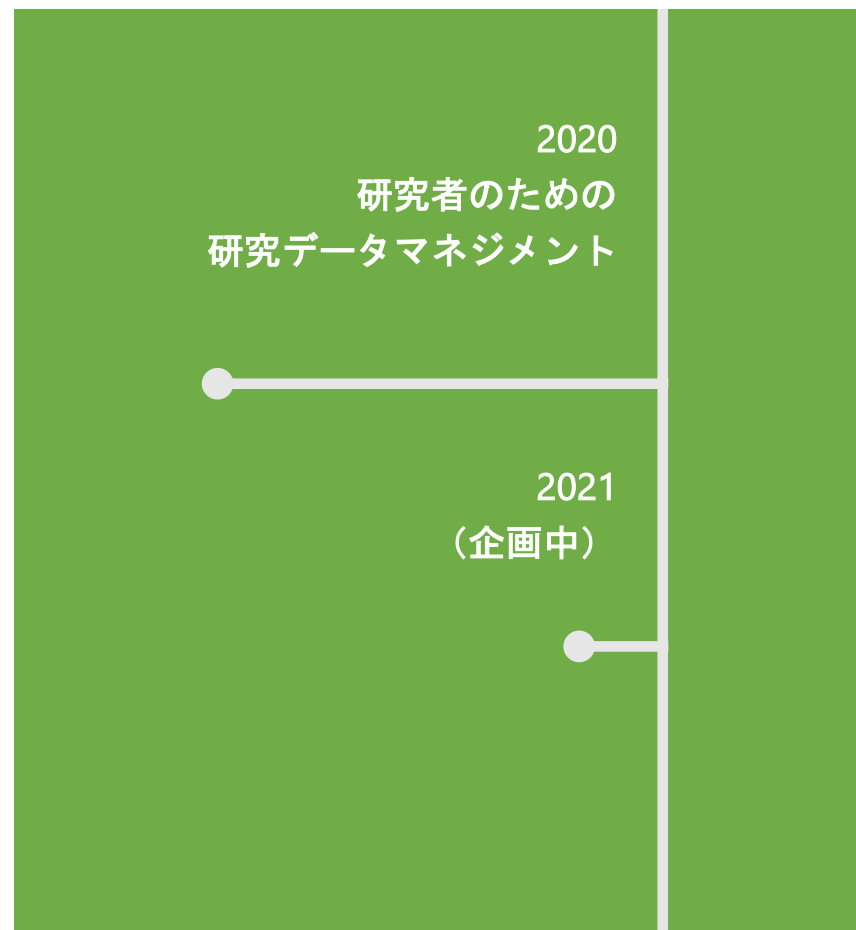


30 Team Members (JPCOAR)



40 Institutions (Project participants)

JPCOARによる教材開発

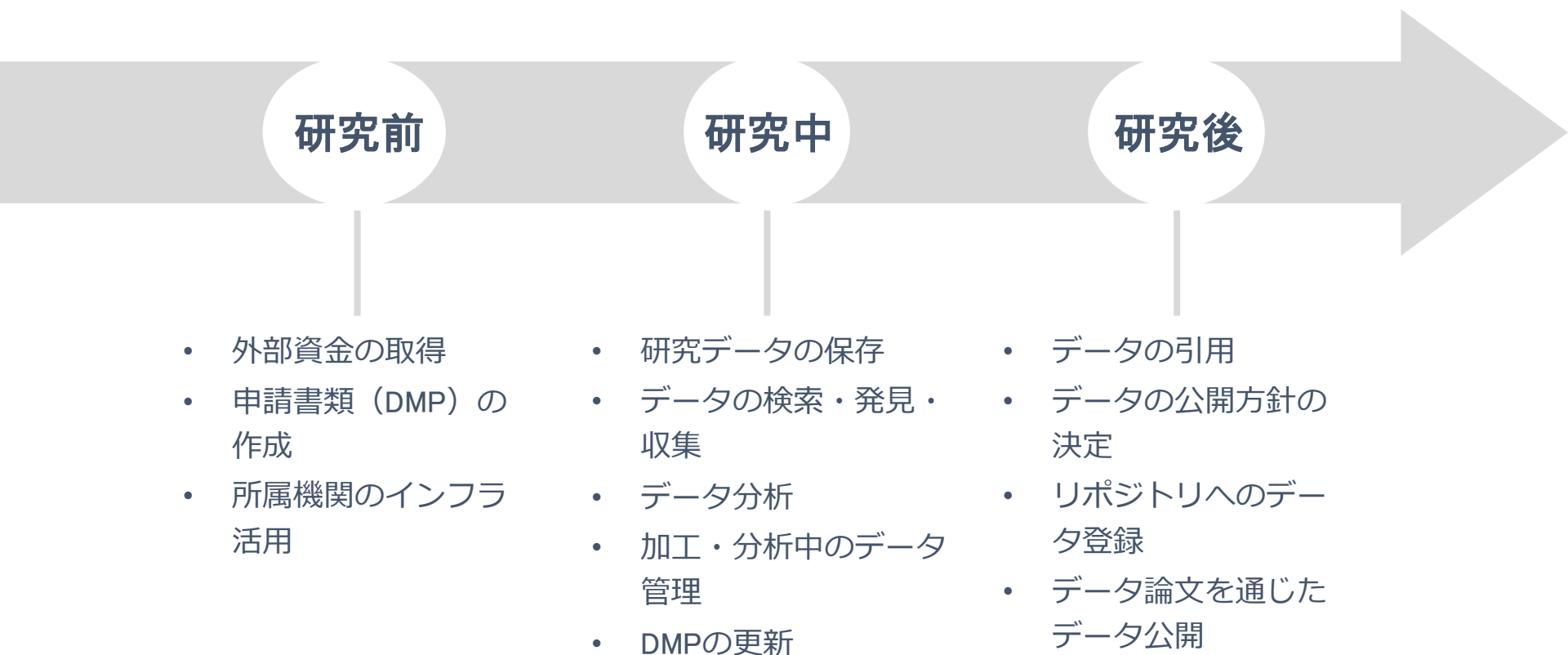


基礎情報

	研究者のための研究 データマネジメント	研究データ管理サービ スの設計と実践	オープンサイエンス時 代の研究データ管理
受講対象	学術機関の研究者	学術機関のRDM支援者	RDMに関心のある方
対象スキル	Curated RDM Basics + α	RDM Basics + Designing RDM Services	RDM Basics
コンテンツ量	全12章（約96分）	全6章（約225分）	全4週（約124分）
修了要件	理解度テスト（コース 修了判定）70点以上	理解度テストの合計点 70点以上	得点率70%以上
修了証の発行	あり（※）	あり（※）	なし
受講条件	なし	なし	なし

※NII教育研修事業の一環として認定されています。
参考： <https://contents.nii.ac.jp/hrd/rdm>

コンテンツの構成： 研究者のための研究データマネジメント



- 2020年10月公開（JPCOAR研究データ作業部会作成）
- 研究プロセスに沿って、テーマ別に必要な知識を取得できる

コンテンツの構成： 研究データ管理サービスの設計と実践

章	内容
第1章：序論	研究データ管理に関する基礎的な知識を学ぶ ・研究データ管理とは何か ・研究データ管理の重要性が増している背景 ・研究データ管理サービスとは何か
第2章：サービス設計	自機関の実情に合ったサービスを設計するために必要なことを学ぶ ・組織づくりや機関としての戦略やポリシーの立案 ・Data Asset Framework（データ資産フレームワーク）の活用法
第3章：研究前の支援	研究者が研究を開始する前段階で、どのような支援が求められているかについて学ぶ ・研究者が遵守すべきポリシーとは何か ・研究資金配分機関等が求めるDMP（データ管理計画）の作成支援
第4章：研究中の支援	研究者が研究を実施している最中に求められる支援について学ぶ ・研究データの種類とセキュリティポリシーの関係 ・データの保存と機関の役割 ・利用可能なデータの発見方法 ・データの分析や可視化の支援方法 ・論文発表の際に必要とされるデータの取扱い ・データ管理計画の見直し
第5章：研究後の支援	研究終了後に、得られたデータを公開することについて学ぶ ・データの公開前に確認すべきこと ・データの公開場所としてのデータリポジトリの選定 ・公開するデータに付与すべきメタデータ、識別子、ライセンスなど
第6章：日常的な支援	日常的な研究データ管理サービスについて学ぶ ・研修の実施方法 ・ポータルサイトの構築と提供すべき情報 ・窓口業務の実施体制 ・広報のための資料作成やアドボカシー活動の展開方法

- ・ 2018年8月公開；2021年2月改訂（JPCOAR研究データ作業部会作成）
- ・ 研究データ管理サービスの全体像を場面ごとに把握できる

コース修了

研究者のための研究データマネジメント: バッジ

取得可能なバッジ数: 1

イメージ	名称 ▲	説明	クライテリア	私に発行 ▲ ▼
	研究者のための研究データマネジメント	研究者のための研究データマネジメント	次の必要条件を完了した場合、ユーザにこのバッジが授与されます: - 以下の活動を完了する必要があります: "小テスト - 理解度テスト (コース修了判定)"	日付: 21/07/5 ✓



修了証書の申請

修了証書発行申請

理解度テストの採点を行ない、合格基準に達しており、修了証書の発行を希望する場合は、次の要領で申請してください。

2021年6月より前に「研究データ管理サービスの設計と実践(2019試験運用)」のコースを修了している場合も、申請可能です。なお、試験運用コースは2022年3月末に終了予定ですので、それまでに申請してください。

2. 機能紹介

機能紹介（デモ）

rdm-03

バッジ

コンピテンシー

一般

1. 研究前：外部資金の取得

2. 研究前：申請書類（DMP）の作成

3. 研究前：所属機関のインフラ活用

4. 研究中：研究データの保存

5. 研究中：データの

GakuNin LMS

日本語 (JA)

研究者のための研究データマネジメント

Home / マイコース / rdm-03

あなたの進捗

このコースについて

本コースは、理解度テスト（コース修了判定）の得点が70点以上の場合、国立情報学研究所教育研修事業研究データ管理セルフラーニング教材の修了証書を取得することができます。

- 各章の動画再生ページは、別タブまたは別ウィンドウで開きます。動画の再生が終わったら、タブまたはウィンドウを閉じてコースにお戻りください。
- 各章の理解度チェックでは、章に関連する問題がランダムに3問出題されます。何回でも受験することができます。
- 理解度テスト（コース修了判定）は、各章からランダムに3問ずつ出題されます。何回でも受験することができます。

1. コースの全体像
2. 解説動画・理解度チェック
3. 修了証書の発行

3. 今後の展望

RDM教材のスキル分析

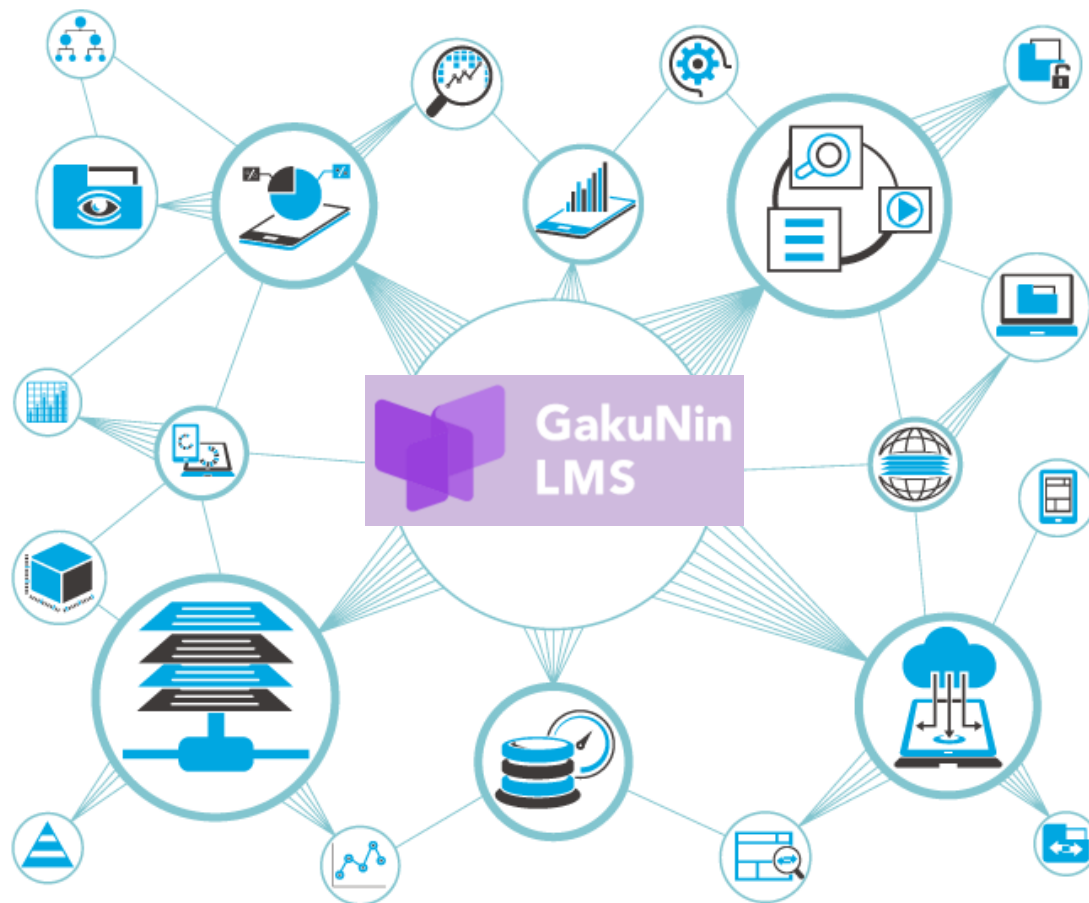
フェーズ	ファイル名	カテゴリ名称	対応するRDMスキル
研究前	外部資金の取得	外部資金取得と研究データ管理	所属組織にとっての主要な外部資金元や、各研究者が獲得を目指す外部資金元の研究データに係るポリシー内容の理解
		研究助成機関のデータポリシーの内容を理解する	
		研究助成機関のデータポリシーに対する所属機関の対応状況を理解する	外部資金元の要求と所属機関のポリシーの整合性・対応状況の理解（助成応募時の対応等を適宜、関係部署と確認できる）
		研究助成機関のデータポリシーに対する所属機関の対応改善を働きかける	外部資金元の要求に対応するため、所属機関のデータポリシー更新やRDM体制の拡充等を提案する能力

- RDM教材を分析し、スキルの観点から教材スライドを分類したい
- ベースとなる標準RDMスキル案を検討中



RCOSトラック6: 研究データ管理支援者に求められるスキル
7/8（木） 13:00 - 14:30

研究データ管理人材の育成促進に向けて



研究データ管理人材を体系的に育成するコミュニティの構築

参考資料

教材開発

■ 研究データ管理サービスの設計と実践

西園 由依, 尾城 孝一, 古川 雅子, 南山 泰之, 日本における研究データ管理教材の開発経緯, 情報の科学と技術, 2021, 71 巻, 4 号, p. 187-193
https://doi.org/10.18919/jkg.71.4_187

■ 研究者のための研究データマネジメント

南山 泰之, n.d., 2020年度RDM教材作成プロジェクト報告書: オープンアクセスリポジトリ推進協会. 2021
<https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/records/2000002>

学認LMS

■ 試験運用報告

JPCOAR研究データ作業部会 学認LMSによる研究データ管理に関するオンライン講座試験運用チーム, n.d., 学認LMSによる研究データ管理に関するオンライン講座試験運用報告書. 2019
<https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/records/238>

■ 開発の経緯

“国内初の研究データ管理のためのトレーニングコース: 体制づくりから支援人材の育成まで”. NII Today 第91号, 2021年3月
<https://www.nii.ac.jp/today/91/6.html>